

鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 72号
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
発行日 2016. 12. 11
編集 芳村恵子

平成 28 年 11 月 17 日 鳥取市さざんか会館にて「中国ブロック少年補導員連絡協議会研修会」が開催され、山本邦彦会長が講師として記念講演をされました。

アドバイザー会員でもある西垣康正さんが、講演の内容をまとめてくださいました。

アドバイザーの皆様にも届けて欲しいとのご依頼がありました。大変有難く、この度通信で読んで頂くことになりました。感謝でいっぱいです。

また、1 枚の用紙を埋め尽くす程のプロフィールは、山本会長の年輪の凄さと、青少年育成に対する奥深い想いを感じました。ご存知の方もいると思いますが、皆様にも知って頂きたく添付させて頂きます。

■記念講演

演 題

『どの子も良い子になりたがっている』
～困った子は 困っている子～

講 師 全日本青少年育成アドバイザー連合会
会 長 山本 邦彦 氏



1 はじめに

私は、60歳で三朝町役場を退職後、全日本青少年育成アドバイザー連合会の会長と僧侶の立場で、青少年の健全育成等に携わっている者です

仏教というのは仏様の教えのことで、その教えの中に「人間がどういう風に生きたら幸せに生きられるのか？」を説いていますが、人間には様々な事情があつてなかなか思い通りにはならないものです。大人でも子どもでも心の中では「良い子」

になって自分自身を認められたいと思っていますが、反面そのことが「怒る」という感情に出ることがあります。

特に子どもは、子ども自身が困っていても、困っていることが表現できないのです。

このことから、タイトルとして「どの子も良い子になりたがっている」、サブタイトルとして「困った子は困っている子」と付けました。

2 青少年育成の基本目標と

青少年を取り巻く社会

青少年育成国民運動発足50周年の節目の年に、青少年を取り巻く社会は、経済優先の競争社会による社会規範・倫理・人間性喪失、民主主義社会の中で家庭や社会コミュニティーの崩壊、グローバル・IT化の進展による人間性喪失、少子高齢化・過疎化・核家族化により国民福祉に逆行する社会となっている。これらの強い影響を受けるのが青少年で、「青少年問題は社会の鏡」と言われる。

3 家庭の現状(家庭の崩壊)と

地域コミュニティーの崩壊

共稼ぎ、核家族化等による共同生活の崩壊により、社会の縮図である家庭が、人間の基礎的な生き方を学ぶ一番大切な場所の機能を果たせない状況がある。少子高齢化や社会構造の変化、価値観の多様化の中で、何もしても自由、個人尊重、プライバシー、上下関係なしの風潮が広がり、地域行事の簡素化や不参加の増加により地域コミュニティーが衰退している。

4 家族の崩壊と地域コミュニティーの

崩壊の結果として

問題行動の多様化、社会性の未熟によるニート・引きこもり・人間関係づくりの低下・規範意識の低下、親子関係の希薄化、虐待、いじめ・自殺、子どもが外で遊ばない等の憂慮すべき傾向があり、取り組むべき課題が多くある。国は「子供・若者育成支援大綱」や「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)」、全国こども福祉センター等の諸政策を実施。

5 非行・虞犯・不良行為は？

人間は誰もが弱いもの。ストレスの溜まる不満社会の中で、そのはげ口を求め、時にそれが非行・虞犯・不良行為となって現れる。「いじめ」・「暴力」・「殺人」に至ることもある。自己主張の表れで、「自分の存在を分かって欲しい」との主張である。人間は認知の欲求を持っており、認められたいと思っている。認められたい・認めてほしいのに、認められない。そのような時、行為を叱るのではなく、少年の環境や心理を理解することが先決であり、聞くことを聞いたうえで、少年の言葉を繰り返すことが大切である。

6 啐啄同時(そったくどうじ)

「啐」は鶏の卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音。「啄」は母鶏が殻を外からつつき破ること。この二つがタイミングよく行われて、雛が誕生する。自ら伸びようとするチャンスを活かして、周りの大人は子ども達のすこやかな成長を促すことが大切である。また、成長に応じて大人が大切な対応(過保護・過干渉・放任・虐待はダメ)をすることが大切である。



7 今、家庭がなすべきこと(原点に帰れ)

- 子どもは良い子になりたがっている。
～親は子どもが伸びるチャンスを活かさせ～
～親の都合より、子どもを優先せよ～
- ① 子どもを見つめ、成長を理解する。
→子どもは常にサインを出している。
→感情・心理状況の理解を。
→子どもと接する時間を濃密に。
→認知・認める機会を増やす。
→「ありがとう」で子育て
:ありがとうの神様
=幸せを運ぶ魔法の言葉。

② 共同生活体の復活を！

→担当の役割を決めて手伝いを
:炊事、洗濯、掃除(特にトイレ、玄関、自室)等。

8 今、地域が成すべきこと

- ① ○ 季節行事 ～ 正月、どんど、豆まき、お盆、節句、みそか(大掃除)等。
○ 地域の伝統文化 ～ 神楽、神輿、芸能。
○ 環境整備 ～ 清掃、廃品回収→美化と自然保護の意識へ。
- ② 町では、行政と一緒に、
子どもが輝く機会を！



9 おわりに

～子ども達は未来を築く我らの宝～
力を合わせよう！

- ① 人生は自分づくりの旅
みんな良い子になりたいと思っている。困っている子どもの心に寄り添える自分になろう。自分磨きに努めよう。
- ② 社会づくり
○ 青少年育成関係者が情報を共有して繋がり、力を合わせよう。
○ 子どもを中心に捉えた町づくりをしよう。
○ 市町村行政や関係機関と連携を緊密にしよう。
- ③ 国づくり
○ 「青少年健全育成基本法」の制定を目指したい。
○ 子ども・若者育成推進のため、子どもを中心に捉えた町づくりをしよう。
○ 市町村行政や関係機関と連携を緊密に行う。

～西垣康正さん、有難うございました。～

■記念講演（14：10）

演 題 『どの子ども良い子になりたがっている』
～困った子は 困っている子～

講 師 全日本青少年育成アドバイザー連合会
会 長 山本 邦彦 氏

【プロフィール】

生年月日 昭和 18 年 9 月 26 日、大阪府岸和田市南町にて出生（現在 73 歳）
生後（12月末）間もなく、父の生家（現住所）に帰る。

住 所 鳥取県東伯郡三朝町大字西小鹿 834-1
〒682-0144 TEL0858-43-2013（自宅）

職 歴 昭和 38 年 4 月 三朝町採用
税務課・農林課・福祉課・教育委員会などを経て、福祉センター館長、社会福祉協
議会事務局長、教育課長、みささ美術館長などを歴任し
平成 16 年 3 月定年退職。（この間 福祉行政 約 10 年、教育行政 約 23 年）
三朝町教育委員 平成 16 年 10 月～平成 24 年 9 月末まで（平成 19 年 10 月から
退任まで委員長）

僧 歴 平成 16 年 8 月 比叡山延暦寺にて得度、法名邦道、三徳山三仏寺法嗣となる。
平成 17 年 9 月 13 日～11 月 13 日 比叡山行院にて四度加行遂業
平成 18 年 4 月 天台座主より権律師に補される。

主な社会活動歴

主な役職歴

平成 15 年 8 月 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会会長（現在に至る）
平成 19 年 10 月 三朝町教育委員会委員長に就任
平成 20 年 4 月 三朝町社会福祉協議会評議員に就任
平成 24 年 9 月末 三朝町教育委員（委員長）任期満了により退任
平成 25 年 6 月 中四国青少年育成アドバイザー協議会副会長
平成 25 年 6 月 全日本青少年育成アドバイザー連合会理事
平成 27 年 5 月 中四国青少年育成アドバイザー連合会会長
平成 27 年 6 月 全日本青少年育成アドバイザー連合会会長

主な資格

昭和 52 年 10 月 社会教育主事（鳥取県教育委員会）
昭和 56 年 6 月 青少年育成アドバイザー（青少年育成国民会議）
平成 13 年 12 月 生涯学習 2 級インストラクター（財団法人 社会通信教育協会）

平成 28 年度

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
第 3 回研修会

日 時：平成 28 年 12 月 3 日（土）
午後 3 時～午後 5 時

会 場：上井公民館

出席者：山本会長 井上 清水 新川
西垣 西上 松原 万木 芳村

1 全日本・中四国青少年育成アドバイザー
連合会の状況について

山本会長より、多くの資料をもとに現状と今後の
取り組みや問題点について報告がありました。

会議の度に日本のあちこちに出向いていただき、
全日本青少年育成アドバイザー連合会の会長とし
て、土台作りそして組織強化にと奔走していただ
いています。

また既に計画されている「後継者の育成と養成
講座」は、新たな仲間作りと、我々アドバイザー
のフォローアップのために欠かせない事業です。

「平成 28 年度 青少年育成アドバイザー養成講
習会」が、平成 29 年 2 月 17 日～19 日、東京の
国立オリンピック記念青少年総合センターで開催
されます。一人でも多くの方に養成講座を受けて
頂きたいものです。

本日のお話の詳細は、山本会長ホームページで
も多くを語り掛けて頂いています。どうぞご覧に
なってください。

予定時間終了しても、語り切れない想いを抱え
て会場を移し、リラックスモードで再開です。

ここより植嶋さんも合流でき、お酒や料理を食
べながら熱い想いを語り続けました。さすが、青
少年育成への想いは皆深まるばかりで語り尽せず、
2 月にまた続きをとということになりました。

詳細は、後ほど事務局よりお知らせがあります。
今回、ご参加になれなかった方々も、万障繰り合
わせて集まっていたいただきたいと思います。

『ちょっと あったかい 絵本のご紹介』

おかあさんに なるって どんなこと

内田麟太郎 文 中村悦子 絵
PHP 研究所 わたしのえほん

うさぎの「ミミちゃん」と「ターくん」が
遊びの中でお話ししているところ

.....

「おかあさんになるってことは…」
ミミちゃんは いいました。
「しんぱいして おもわず ぎゅっと
だきしめて おもわず なみだが
でることよ」

「そうみたいだね」
ターくんは うなずきました。

.....

そして久しぶりにこの写真を思い出しました。



編集後記

平成 28 年もういよいよ終わろうとしています。皆様
にとって、この年は如何だったでしょう。

自然災害の恐ろしさと共に、こんな時だからこ
そ人の温かさを感じた方も多いと思います。

来年も、皆で支え合い助け合って、青少年健全
育成のために頑張っていけたらと願っています。

通勤途中、ラジオから流れてきました。「忘年会
でなく望年会と称して、新たな年に望みをかける
会としている」と。ナルホドナ！